



こぼと

千葉市立第二養護学校

学 校 だ よ り

令和 8 年 1 月 20 日
第 9 号

変わらない新しい歴史のスタートへ

校長 渡 邊 幸 也

新年、あけましておめでとうございます。今年の「丙午」は60年に一度めぐって来る年で「丙」は「陽の火を象徴し、太陽のような明るさや情熱、決断力」、「午」は「馬にあてはめられ、行動力や決断力、エネルギーを象徴する」を意味し、「力強さや前向きなエネルギーを表す年」とされています。お子様の健やかな成長とご家族、ご関係者の皆様のますますのご発展、そして第二養護学校の充実と発展のため、今年の干支のように、教職員と保護者の皆様、関係者の皆様がしっかりとスクラムを組み、力強く前進を続けてまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

冬休みが明け、子供たちの笑顔と元気な声が二養に戻ってきました。冬休み中のお子様の生活の様子はいかがでしたでしょうか。気になることや心配なことがございましたら、遠慮なく担任にご相談ください。

さて、千葉市教育委員会からの文書でお知らせの通り、令和8年度より校名が「千葉市立第二特別支援学校」と変更になります。令和6年度には、校名変更についてのアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。関係部署との調整の後の教育委員会議での議決、そして12月に開催された千葉市議会第4回定例会で「千葉市特別支援学校設置条例」の改正が可決されての校名変更となります。政令指定都市で「養護学校」の名称を使用しているのは千葉市を入れて2市、都道府県では1道6県であり、地域の歴史や保護者・卒業生の意向、校歌・校名への愛着などから使用を続けているケースがほとんどですが、「特別支援学校」へ名称を変更予定・変更に向けて検討中だそうです（インターネット調べ）。平成19年度に学校教育法の一部改正により、「養護学校」から「特別支援学校」に多くの学校が校名を変更していますので、時代の流れとも言えます。

親しみのある「二養」という愛称ですが、本校のセンター的機能を発揮した千葉市の特別支援教育のさらなる充実と発展、共生社会の醸成のために、校名変更を迎える令和8年度は冒頭で触れました干支にちなみ、「二養のさらなる飛躍の年」と捉えたいと考えます。ピンどめ名札につきましては、来年度より業者ではなく学校で作成し保管いたします。また、体操服のゼッケン名札は、4月以降も「第二養護学校」の学校名のものを使用できます。ご家庭のにある予備のものがなくなりましたら、「第二特別支援学校」のものをご購入いただければと思います。「第二特別支援学校」のゼッケン名札は現在の在庫がなくなり次第販売しますが、4月よりご使用可能です。また、学校経営方針の「目指す子供像」では、3つの子供像の頭の文字が「によう」となっていますが、本校47年の歴史を刻んできた歴史を重んじ変更はしません。また、本校のイメージキャラクターの「ニヨポン」、「にっくん」、「ようちゃん」も愛称もそのままに、引き続き活躍してもらいます。学校経営方針や教育活動、学校体制は変更ありません。4月からも、お子様の健やかな成長のために、「変わらない新しい歴史」を教職員、保護者の皆様、関係者の皆様でスクラムを組み刻んでまいりましょう。